#### 【週報】あかし保健所管内 感染症発生動向調査2023年第32週(2023/8/7~2023/8/13)

#### <定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数)>

小児科定点(7医療機関)												
÷÷41r	2023年											
疾病名称 【 <u>警戒レベル</u> 基準】	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週		
TEMP WETT	6/5~	6/12~	6/19~	6/26~	7/3~	7/10~	7/17~	7/24~	7/31~	8/7~		
RSウイルス感染症	6.86	7.29	9.29	6.00	7.29	7.43	2.43	3.29	2.00	1.00		
咽頭結膜熱 【3.00~】	1.57	2.71	3.14	2.00	0.43	0.57	0.71	1.14	1.00	0.57		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 【8.00~】	1.57	1.29	1.14	0.43	1.86	2.00	0.71	0.57	1.00	0.71		
感染性胃腸炎【20.00~】	10.57	10.86	10.14	7.14	11.43	8.43	7.14	7.71	5.14	4.86		
水痘【2.00∼】	0.14	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.14		
手足口病【5.00~】	0.43	0.29	0.00	1.86	2.14	0.57	0.71	0.86	1.43	1.00		
伝染性紅斑 【2.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
突発性発しん	0.71	0.57	0.43	0.43	1.00	0.71	0.57	0.71	0.14	0.14		
ヘルパンギーナ【6.00~】	6.29	6.71	6.29	6.29	8.29	6.29	2.43	3.57	1.43	0.14		
流行性耳下腺炎【6.00~】	0.00	0.00	0.00	0.29	0.29	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00		

	インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点(11医療機関)													
	疾病名称 【警戒レベル基準】		2023年											
			24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週			
			6/12~	6/19~	6/26~	7/3~	7/10~	7/17~	7/24~	7/31~	8/7~			
	インフルエンザ【30.00~】	0.91	1.45	1.64	2.18	3.00	2.09	1.91	1.45	3.18	0.82			
	新型コロナウイルス感染症	2.73	2.55	2.36	3.82	6.36	5.64	9.55	10.45	12.55	11.36			

眼科定点(2医療機関)												
<i> <b>応</b>応力</i> <b>1</b>	2023年											
疾病名称 【警戒レベル基準】	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週		
TE/WV WETT	6/5~	6/12~	6/19~	6/26~	7/3~	7/10~	7/17~	7/24~	7/31~	8/7~		
急性出血性結膜炎 【1.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
流行性角結膜炎 【8.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00		

#### <全数把握対象感染症発生状況>

<u> </u>																	
感染症	疾病			2023年	2023年												
分類	名称	2021年	2022年	2025+	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週			
22.0	H13.			(1~最新週)	6/5~	6/12~	6/19~	6/26~	7/3~	7/10~	7/17~	7/24~	7/31~	8/7~			
2類	結核	48	56	26	0	1	1	1	0	1	1	0	3	1			
3類	腸管出血性大腸菌感染症	4	4	4	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0			
ン共	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4類	デング熱	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
4块	日本紅斑熱	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	レジオネラ症	8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	アメーバ赤痢	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	水痘(入院例)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	梅毒	16	10	13	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0			
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
3,50	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	後天性免疫不全症候群	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	播種性クリプトコックス症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	急性脳炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

#### 【週報】あかし保健所管内 感染症発生動向調査2023年第32週(2023/8/7~2023/8/13)

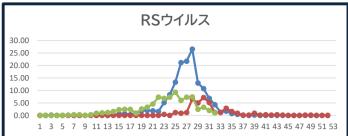
定点把握対象感染症発生状況(グラフ/過去3年間)



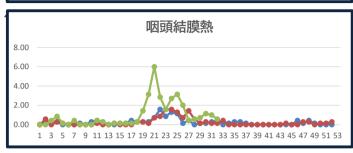




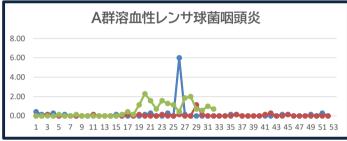
2023

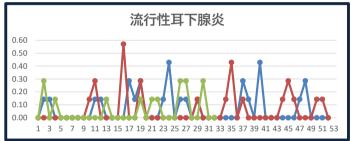




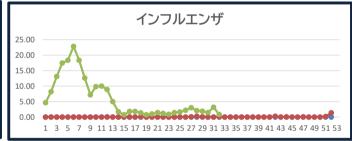


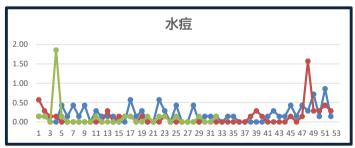


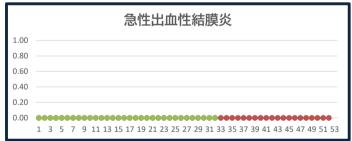


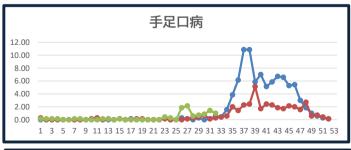


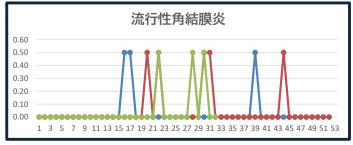


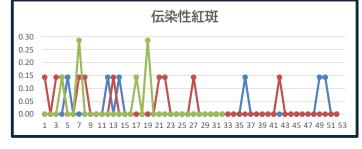














#### ~薬が効かないのは薬剤耐性菌のせいかもしれません~

# 薬剤耐性菌

#### 1 薬剤耐性菌が生まれるまで





体の中には様々な 害のない細菌がいます

#### 2 感染症発症



病原菌が増えて 感染症を発症します

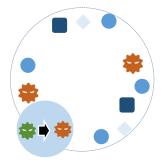
(抗生物質)

1 抗菌薬治療



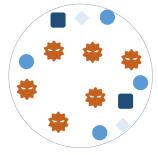
病原菌と共に害のない 細菌も退治してしまいます

#### 4 薬剤耐性菌が残る



病原菌が変化して生まれた 薬剤耐性菌が生き残ります

#### 5 薬剤耐性菌が増殖



体内に薬剤耐性菌が 多数いる状態になります

## 2 薬剤耐性菌が増えることでの主な影響

- 効果が見込まれる薬が少なく、治療に時間がかかります。
- 抗菌薬が効かないと感染症の予防や治療が難しくなります。

## 3 今から出来る薬剤耐性予防



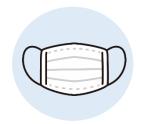
① 抗菌薬は医師の 指示通り飲み切る



② 残った抗菌薬は あとで飲まない



③ 抗菌薬を あげない・もらわない



④ マスク・手洗いで 予防しよう

## 高齢者施設における「薬剤耐性菌」対策

## 薬剤耐性菌の問題

- 薬剤耐性菌により感染症に罹ると治療が難しくなります。
- 施設内では薬剤耐性菌の拡大が深刻であり、自宅で生活している人 と比較して有意に薬剤耐性菌を保有していることがわかっています。





介護スタッフを介して





施設内環境を介して

## 保菌状態なら標準予防策

- 感染症を引き起こしていない『保菌』状態であれば、拡大リスクも低 いため<u>感染対策は標準予防策で十分</u>です。
- 標準予防策が徹底されていれば、保菌者に制限を設けたり特別扱い する必要はありません。

#### 標準予防策

- 手指衛生
- 個人防護具
- 咳エチケット
- ・使用後リネンの適正な処理
- 使用後器材の適正な処理
- ,環境整備 など

#### 症状に応じて接触感染予防 (3)

- 薬剤耐性菌の保菌者が発症した際は、接触感染予防策を行います。
- 咳や痰が多いなど、拡散リスクが高い場合は、個室を検討します。
- ケアや入浴を最後にしたり、使用物品等の消毒を実施してください。